

# こども大綱における目標・指標体系の検討状況について

## 目指す社会 こどもまんなか社会

## 目標（案）

## 重要事項/必要な事項

## 状況等を把握するための指標（案）

（全てのこどもや若者が、保護者や社会に支えられ、生活に必要な知恵を身に付けながら）

（20代、30代を中心とする若い世代が）

- 心身ともに健やかに成長できる。
- 個性や多様性が尊重され、尊厳が重んぜられ、自分らしく、ひとりひとりが思う幸福な生活ができる。
- 様々な遊びや学び、体験等を通じ、生き抜く力を得ることができる。
- 夢や希望をかなえるために、希望と意欲に応じて、のびのびとチャレンジでき、将来を切り拓くことができる。
- 固定観念や価値観を押し付けられず、自由に多様な選択ができ、自分の可能性を拡げることができる。
- 不安や悩みを抱えたり、困ったりしても、周囲のおとなや社会にサポートされ、問題を解消したり、乗り越えたりすることができる。
- 虐待、いじめ、暴力、経済的搾取、性犯罪・性暴力、災害・事故などから守られ、困難な状況に陥った場合には助けられ、差別されたり、孤立したり、貧困に陥ったりすることなく、安全に安心して暮らすことができる。
- 自らの意見を持つための様々な支援を受けことができ、その意見を表明し、社会に参画できる。
- 働くこと、また、誰かと家族になること、親になることに、夢や希望を持つことができる。
- 円滑に社会生活を送ることができ、経済的基盤が確保され、将来に見通しを持つことができる。
- 希望するキャリアをあきらめることなく、仕事と生活を調和させながら、希望と意欲に応じて社会で活躍することができる。
- それぞれの希望に応じ、家族を持ち、こどもを産み育てることや、不安なく、こどもとの生活を始めることができる。
- 社会全体から支えられ、自己肯定感を持ちながら幸せな状態で、こどもと向き合うことができ、子育てに伴う喜びを実感することができる。そうした環境の下で、こどもが幸せな状態で育つことができる。

- こどもまんなか社会の実現に向かっていて考える人の割合
- 生活に満足しているこども・若者の割合（Well-beingの高さ）
- 今の自分が好きだと答えるこども・若者の割合（自己肯定感の高さ）
- 社会的スキルを身につけているこどもの割合
- 自分には自分らしさというものがあると考えるこども・若者の割合
- どこかに助けしてくれる人がいるとするこども・若者の割合
- 今までに社会生活や日常生活を円滑に送れたとするこども・若者の割合
- こども政策に関して意見を聞いてもらえていると考えるこども・若者の割合
- 自分の将来について明るい希望を持っているこども・若者の割合
- 日本の将来は明るいと思うこども・若者の割合
- 結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かっていて考える人の割合
- こどもの世話や看病について頼れる人がいると答えた人の割合

ライフステージを通して

幼児期まで

学童期・思春期

青年期

青年期

子育て当事者への支援

- 3-1(1)こども若者が権利の主体であることの社会全体での共有等
- 3-1(2)多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり
- 3-1(3)こどもや若者への切れ目ない保健、医療の提供
- 3-1(4)こどもの貧困対策
- 3-1(5)障害児支援・医療的ケア児への支援
- 3-1(6)児童虐待防止対策等と社会的養護の推進
- 3-1(7)こども・若者の自殺対策、犯罪などからこども・若者を守る取組
- 3-2(1)妊娠前から妊娠期、出産、幼児期までの切れ目ない保健・医療の確保
- 3-2(1)こどもの誕生前から幼児期までのこどもの成長の保障や遊びの充実
- 3-2(2)こどもが安心して過ごし学ぶことができる公教育の再生等
- 3-2(2)居場所づくり
- 3-2(2)小児医療体制、心身の健康等についての情報提供やこころのケアの充実
- 3-2(2)成年年齢を迎える前に必要となる知識に関する情報提供や教育
- 3-2(2)いじめ防止
- 3-2(2)不登校のこどもへの支援
- 3-2(2)高校中退の予防、高校中退後の支援
- 3-2(3)高等教育の修学支援、高等教育の充実
- 4-1こども・若者の社会参画・意見反映
- 3-2(3)就労支援、雇用と経済的基盤の安定のための取組
- 3-2(3)結婚を希望する方への支援、結婚に伴う新生活への支援
- 3-3(1)子育てや教育に関する経済的負担の軽減
- 3-3(2)地域子育て支援、家庭教育支援
- 3-3(3)共働き・共育ての推進、男性の家事・子育てへの主体的な参画促進・拡大
- 3-3(4)ひとり親家庭への支援

※一部抜粋

- こどもは生まれながらに権利を有しているとする人の割合
- こどもの貧困率
- 児童虐待相談対応件数
- 里親等委託率
- 児童生徒の自殺者数
- 妊産婦の死亡率
- どこかに居場所があるとする、こども・若者の割合
- いじめの重大事態の件数
- 不登校児童・生徒数
- 高校における中途退学数
- 大学等への進学率
- こども若者の意見聴取の取組を実施している自治体の割合
- 若年層の平均賃金
- 50歳時点の未婚率
- 「いずれ結婚するつもり」と考えている未婚者の割合
- 合計特殊出生率
- 出生数
- 夫婦の平均理想/予定 こども数
- 理想の子ども数を持たない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」を挙げる人の割合
- 男性の育児休業取得率
- 男性の育児・家事関連時間
- ひとり親世帯の貧困率

※数値目標に紐づく個別の施策の進捗状況を検証するための指標についてはこどもまんなか実行計画において設定